

平成28年度 第3回 消費生活モニターアンケート集計結果

1 調査趣旨

◎～暮らし向きについて～

平成28年10月の月例経済報告（内閣府）では、「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と報告されています。先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」としています。

このアンケートは、毎年ほぼ同じ内容で、消費者の暮らし向きの実態や意識を調査する目的で実施しています。過去の調査結果と比較することで消費者意識の変化を把握するとともに、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

◎～食品に関する意識調査～

日本では、年間約1,700万トンの食品廃棄物が捨てられています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品（いわゆる「食品ロス」）は、年間500万～800万トンといわれています。この食品ロスのうちの約半分は家庭から排出されており、1人あたりの食品ロス量は、年間約15Kgと試算されています。これはご飯60膳分に相当します。現在の日本では、食べ物が豊富にあることが当たり前となっており、「もったいない」というモノを大切にする意識が薄れているように思われます。そこで、「食品」に関する意識調査を実施し、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

2 送付数 21通 回答数 21通 回答率 100%

3 調査方法 往復郵送

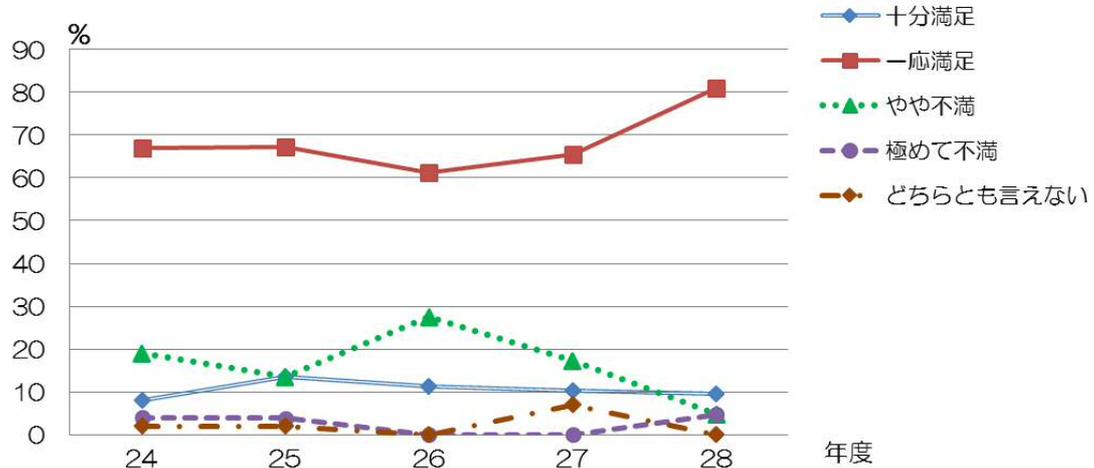
4 調査時期 平成28年11月～12月



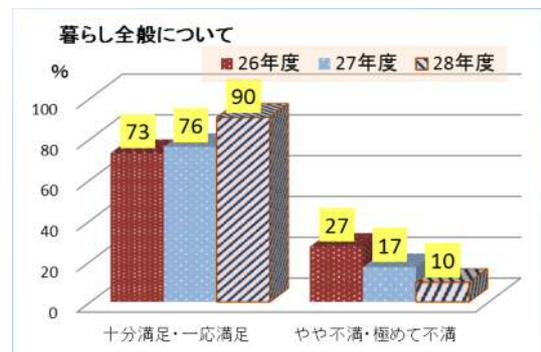
～暮らし向きについて～

問1 あなたの家庭の暮らし向きについてお伺いします。次の各項目について、それぞれ当てはまる番号を1つお選びになり、○印を付けてください。

(1) 暮らし全般について

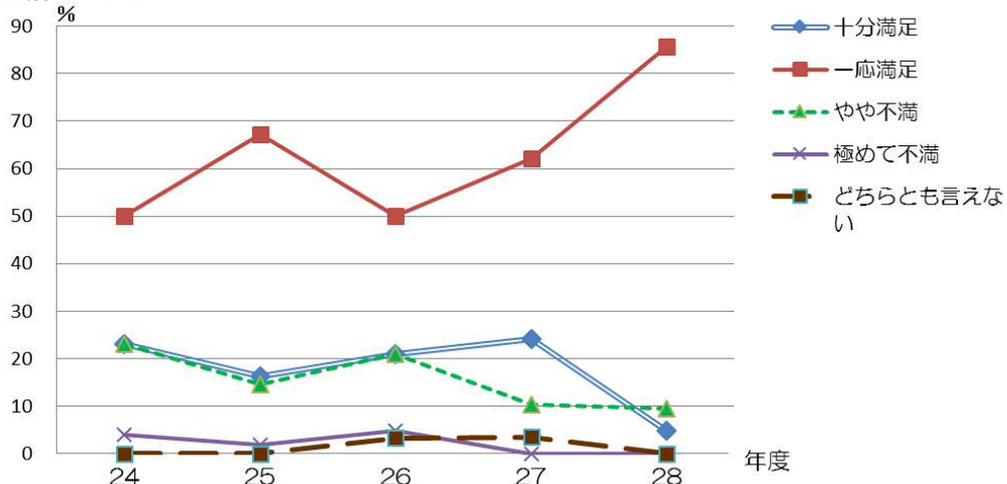


★ 暮らし全般については、『やや不満』『どちらとも言えない』が昨年よりも減少し、『一応満足している』『極めて不満』の回答が上昇しています。

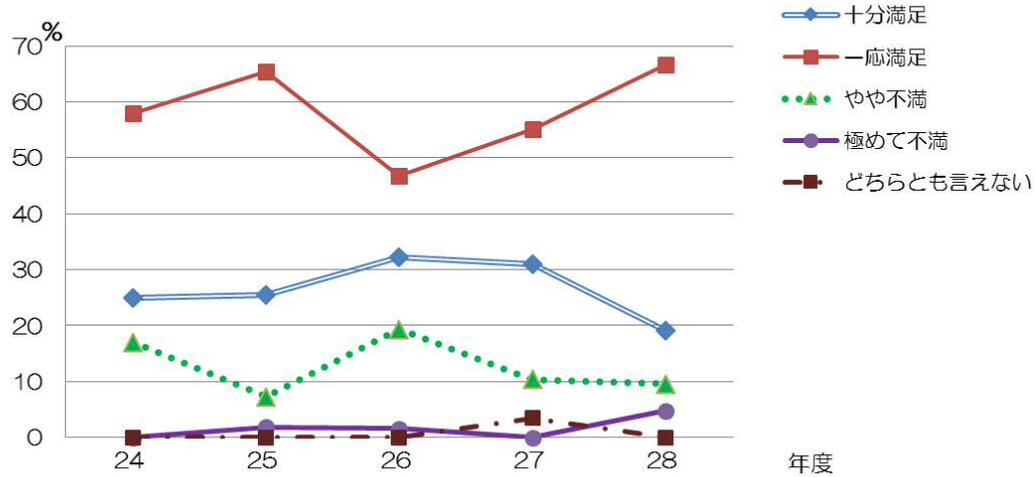


★ 暮らし全般の満足度について、平成28年度は『十分満足・一応満足』の割合が増加し、『やや不満・極めて不満』の割合は減少しています。

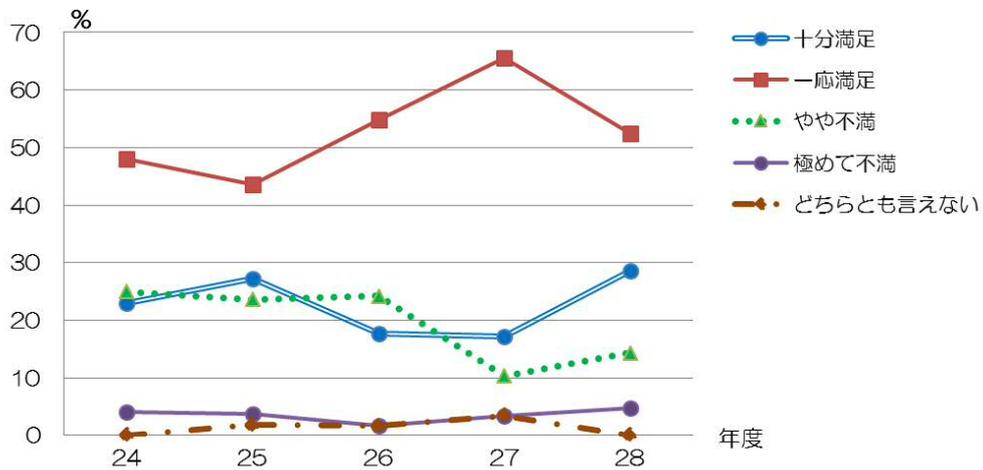
(2) 衣生活について



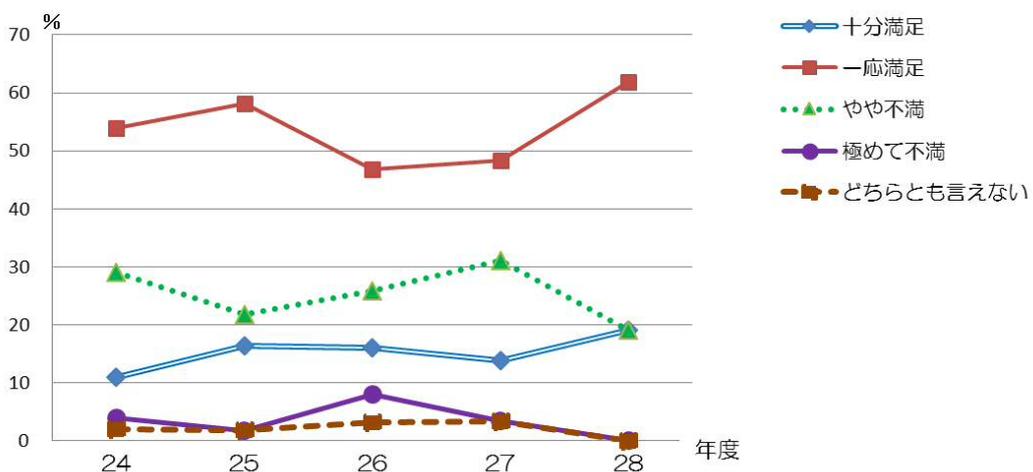
(3) 食生活について



(4) 住生活について

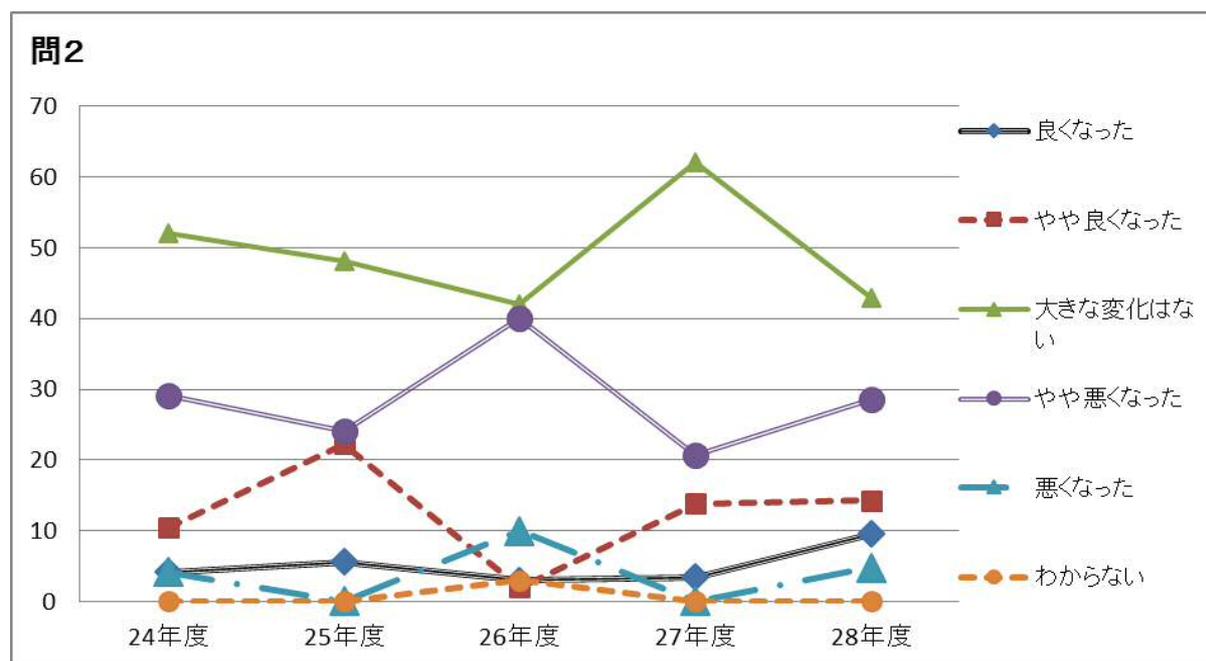


(5) レジャー・余暇について



★ (4)を除き、「一応満足」と回答した方は、昨年よりも上昇しました。「どちらとも言えない」と回答した方は、昨年よりも減少しました。

問2 あなたの家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？



★ 暮らし向きについて、「大きな変化はない」と回答した方が一番多く、43パーセントとなりましたが、昨年と比べると、19パーセント減少しました。「やや悪くなった」と回答した方は、昨年よりも8パーセント上昇しました。

《具体的な理由》

1 良くなった

- ・ 住居を賃貸から戸建を購入して引っ越した。家賃よりも住宅ローン返済の金額の方が多いが、最終的に自分の物となるので良くなったと思う。子どもの一人が社会人となり、学費が不要となった。
- ・ 時間的にも経済的余裕があった。

2 やや良くなった

- ・ 子供の学費支払が終了した。
- ・ 所有している不動産数が増えたため。

3 大きな変化はない

- ・ 仕事も比較的順調に推移しており、健康上の問題もないので。
- ・ 何事もなく過ごしているため。
- ・ 主人の仕事は変わらず安定しており高校生の子供に関する支出も前年と変わりが無いから。
- ・ 物価にそれほど変動を感じず収入にも変化がないので。
- ・ 私も主人も去年も今年も、もらう年金の金額がほぼ同額でしたので。

- 所得、住環境、物価など大きな変化はないので。
- 主人の年収と子供の年齢（去年0才、今年1才）にほとんど変化がない為。
- 収入が変化ないので。

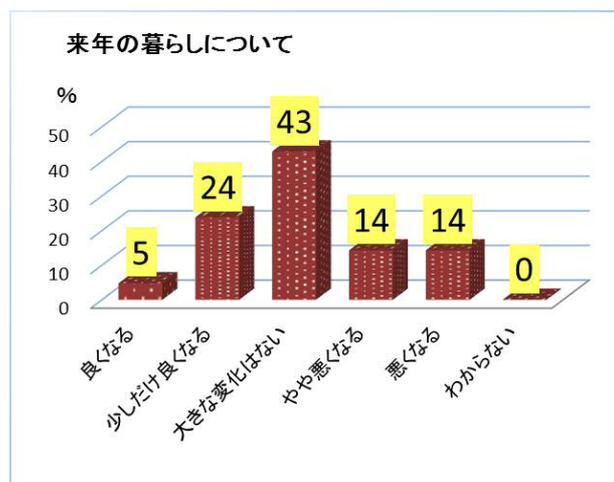
4 やや悪くなった

- 出費が少し増えたように感じる。それに、家族でのお出かけが減った。
- 年金額の減少と親の介護費用の増大。
- 4月より地方から孫が東京の大学へ入学となり同居したことと、気候変動で災害が多くあり野菜高騰が重なったこともひとつの理由で、かつ便乗値上げも大きな要因と思える。
- 食単価が下がっている。
- 昨年子供が生まれ、少しずつ大きくなり着る物も買いかえたり、食べる量が変わったので「良い物を」と思うと、今までよりは少しお金がかかっていると思います。

5 悪くなった

- 物価特に野菜の高騰がひびいている。生活が苦しい。

問3 あなたの家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



《具体的な理由》

1 良くなる

- 経済的に豊かになる。

2 少しだけ良くなる

- 主人の年金の金額が今年の暮れより少しだけアップするので。
- 仕事が良い方向に向かっているので。
- 長女が大学を卒業し、学費がなくなるので。

3 大きな変化はない

- 今のままであれば、不満になる所はない。
- これまで大きな変化がなかったため。
- 主人の仕事に変化がなければ来年の今頃も変わらないと思うから。

- 先のことはわかりませんが変化が大きくないことを祈るくらいでしょうか。
- 年金生活のため。
- 景気などについて大きな変動はないと思う。
- 家計は夫の収入によるもののみで支えられているので、そちらに変化がなさそうなので”大きな変化はない”にあてはまるかと思います。あとは慣れかと考えています。
- 生活環境に大きな変化の予定がないため。

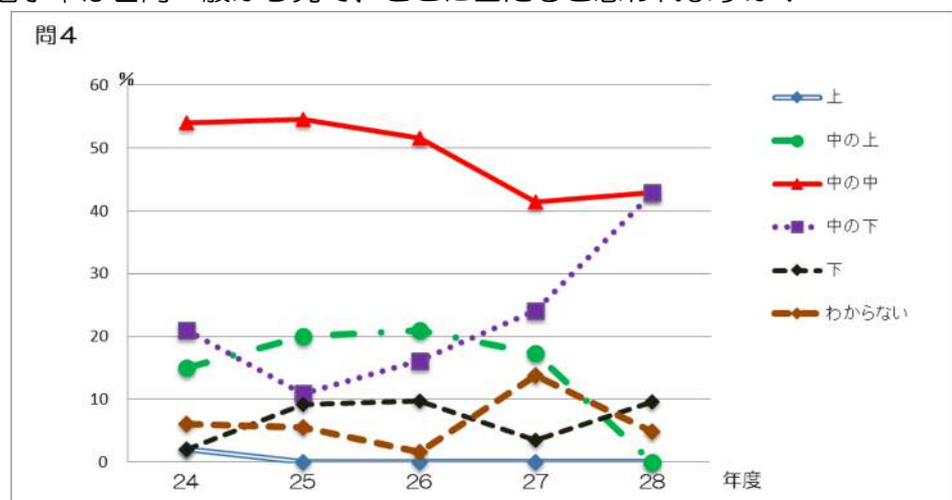
4 やや悪くなる

- 年金額の更なる減額と医療費負担増が予測されるから。
- 今より少しは暮らし向きは悪くなると思っています。孫の食欲旺盛には金額的にもかなりの工夫を要します。

5 悪くなる

- 下の子の幼稚園通いで出費が重なるから。
- 最低の収入なのに、まだカットされるので。
- 夫が退職し年金の全額支給まで間があるため。支給年齢を上げられそのわりに職場の雇用体制が整わず翻弄されています。

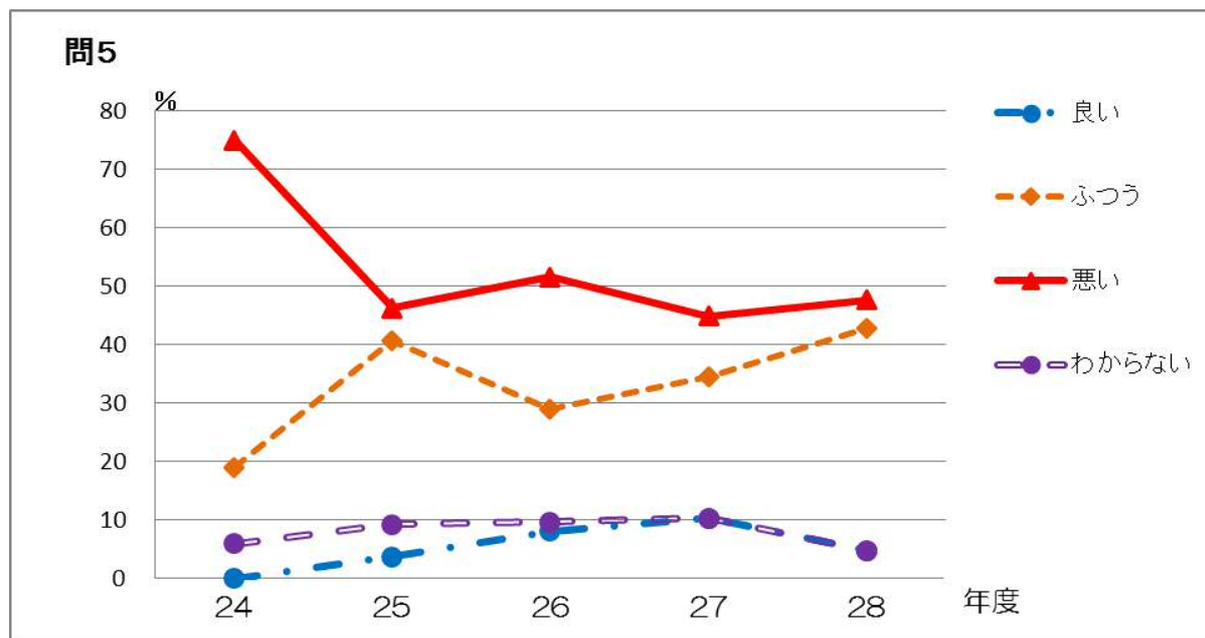
問4 あなたの生活水準は世間一般から見て、どこに当たると思われますか？



★ 「中の中」「中の下」と感じる方が一番多く、43%の方がそう感じています。「中の上」「わからない」と感じる方は昨年よりも減少しています。



問5 現在、あなたは景気についてどの様に感じていますか？



★ 景気について、「悪い」と感じる方が、前は45%でしたが、今回は48%に上昇しました。また、「ふつう」と感じる方が、前は34%でしたが、今回は43%に上昇しています。「良い」と感じる方は、前回の10%から5%に減少しました。

《具体的な理由》

1 良い

- 我が家を除いて海外旅行や国内旅行が多く見受けられる。また主婦達のホテルランチや外食ファミリーが増す中、コンビニでの総菜買い等する方が多く見受けられるので景気が良いと感じました。



2 ふつう

- そういう状況に今の所はなったことがない。世界的にはひどいと思います。
- 勤めている会社の業績が良くないのに、物価が上がっているので、ぜいたくは出来ない。
- 10年位前と比べると悪い状態からは少し上向いた気がするから。
- 景気の低迷は世界的な状況なのではないと思う。
- 成長率についてここ数年大きな変動がないので。
- 求人もそれなりに有るようなので、株価や為替相場も上向きになりつつある。
- 物価はさほど上がらず、安定してるから。

3 悪い

- 正直モノが売れない。ソコソコの値段のものが売れなくて、極端に高いものが安いものしか売れていないので。

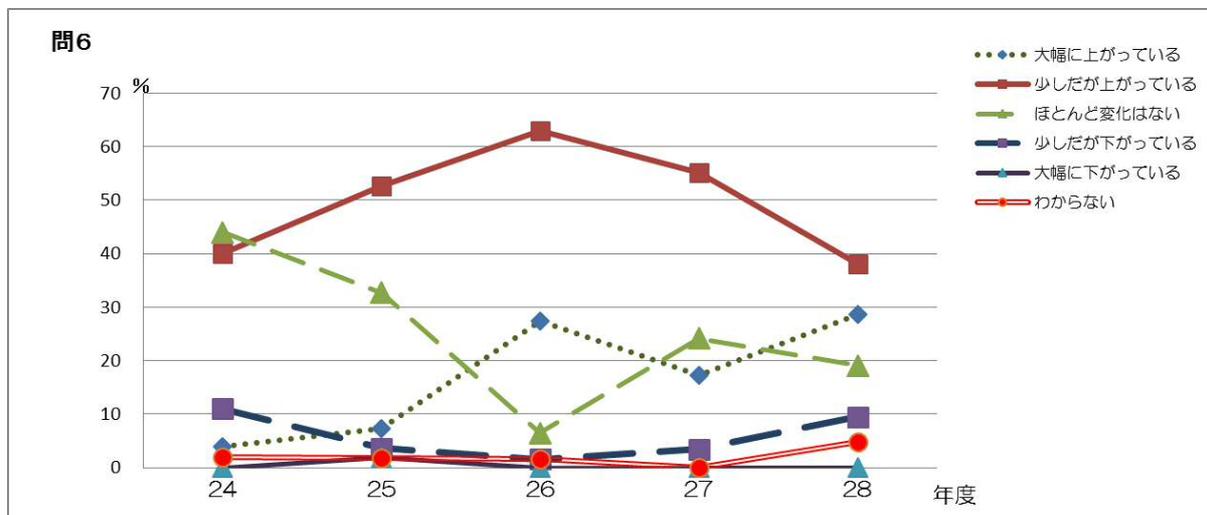
- 良くなっていると考えられない（何もかも値上げ）
- 一部の大企業は利益を上げているようだが、一般消費者は実質賃金は上がらず節約等で生活防衛して過ごしているのが実状。
- 給料は変わらないのに税金ばかりもっていかれる。消費者の財布のひもは固い
- 将来が不安で消費に回ってない。
- 税金、雇用保険等が増加し、物価が安定しない。
- 生活保護を受けている方が増えているので悪いのではないかと思います。
- 子供の貧困、老後の貧困など、貧困に関するニュースを良く耳にする為。
- 消費がのびてない。

4 わからない

- 関心がないため。



問6 あなたが日常生活を送る上で、物価について、昨年の今頃と比べてどの様に感じますか？



★ 物価について、「大幅に上がっている」・「少しだが下がっている」・「わからない」と感じている方が、前回よりもそれぞれ上昇しており、「ほとんど変化はない」・「少しだが上がっている」と答えた方は減少しています。

《具体的な理由》

1 大幅に上がっている

- 生きる為の食品が上がっている。
- 買い物をしていて上がっている。

- 野菜価格の高騰。
- 災害の影響もあり、生鮮食品類で値上がりが続いている。
- 野菜の価格上昇が主な理由。食費メインの我が家にとっては昨年にくらべると明確にちがっていると思います。

2 少しが上がっている

- 野菜の値段が上がっている。1. 5倍ぐらい。
- 1品1品が色々な理由で値上がったように感じているから。
- 収入は昨年と同じなのに毎月の集計数字が高くなっていて貯金が1万円できたのが頑張っても6千円位しかできなくなりました。
- 食料品の値上り。
- 主婦ですので買物をする時、色々なものが値上がりしていると感じます。
- 実感としてはないが、ニュースで食料品やテーマパークの入園料の値上げのニュースを耳にした為。
- 食品の値上がり。衣服でも値段は同じでも質が落ちている。
- 野菜が少し上がっているから。

3 ほとんど変化はない

- 野菜等季節物は値上がりしているが、全体的にみれば大きな変動はないように思える。
- 物価は全体的にやや下がっているが、大きな変動はない。

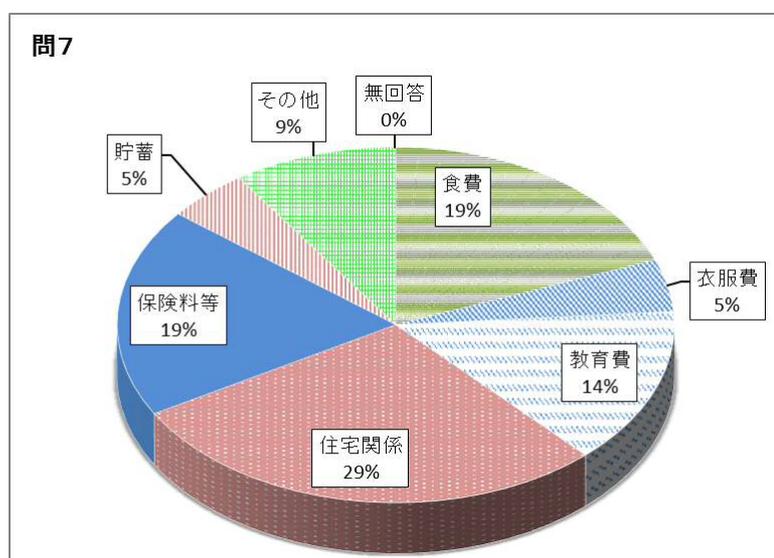
4 少しが下がっている

- 上述したが、どちらかというとい安いのほうが売れ行きが良いので。
- 店同士で競合しているので、近くのお店同士の価格を確認しやすい。安い方の店舗で購入するので。

6 わからない

- 覚えがないので

問7 あなたが日常生活を送る上で、現在1番生活を圧迫している費用は何ですか？



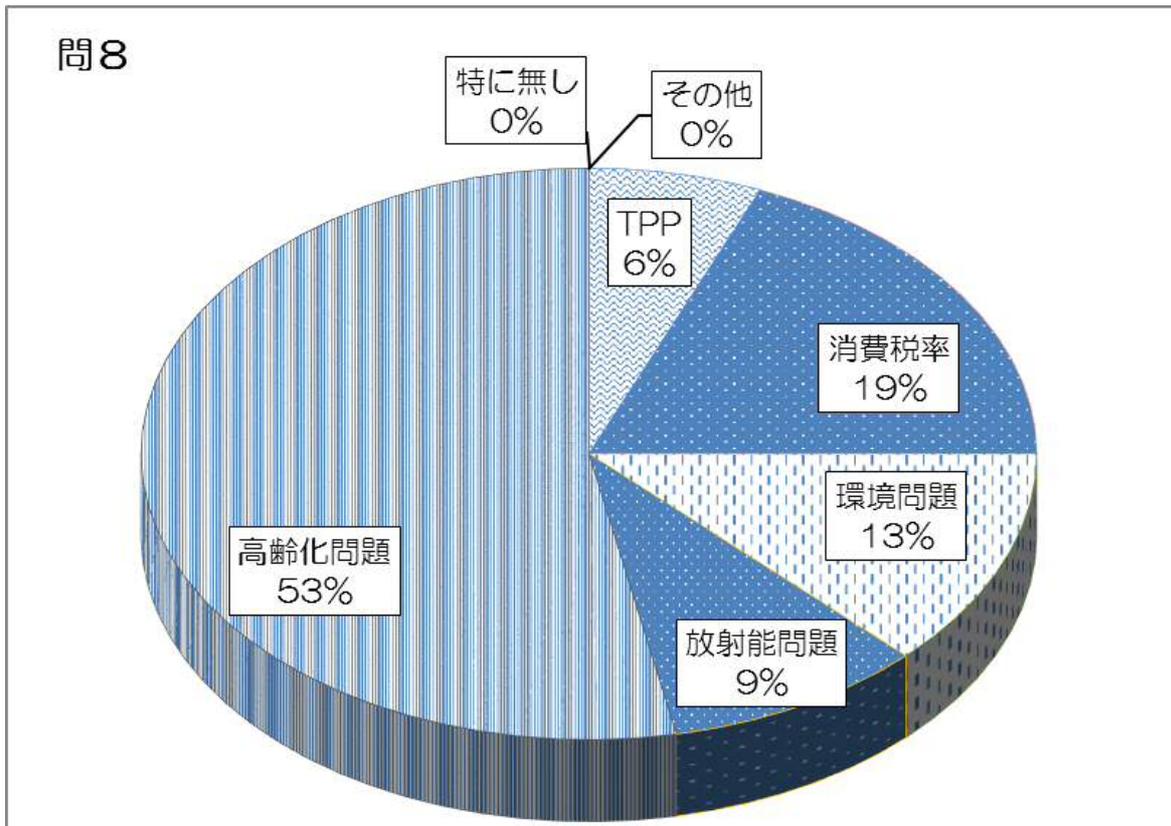
★ 第1位が「住宅関係」で、以下「保険料等」、「食費」が同順位となりました。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
第1位	住宅関係	食費	食費	食費	住宅関係
第2位	保険料等	住宅関係	教育費／住宅関係	住宅関係	保険料等／食費
第3位	貯蓄	その他	保険料等※第4位	教育費	教育費※第4位

《その他・補足意見》

- ・ 外食はしなくても出来た食品を買っては食べてることが多い。
- ・ 将来の不安に備えて掛けているはずが、生命保険料が何だか高い気がする。
- ・ 水道代や電話代、通信費、日々の生活には欠かせない項目で圧迫しているとは言えない状況なのですが。毎月高額と感じてます。
- ・ 賃貸のアパートを借りていますので、月々86,000円の家賃と共益費2,000円は痛いです。
- ・ 夫の会社で年金がなくなり個人で加入しなくてはならなくなったので。
- ・ 税金で固定資産税、不動産取得税が多い。

問8 あなたが、暮らしの中で不安に思うことはありますか？



「高齢化問題」、「消費税率」、「環境問題」、「放射能問題」、「TPP」の順となりました。

《補足意見》

- ・ 若い年齢の人から高齢の人までみんなに負担が大きくなりそうだから。

- 今は夫婦二人で協力し合い日々前向き姿勢で生活していますが、更に老いて一人になった時、身体に障害が2つも人工的に形成された私には手足が衰え動かなくなったらと前向き精神も萎えてしまうのではと考えるようになりました。
- 消費税がまた10%に上がるなんてやめてほしいですね。8%の値上がりでも家計を圧迫しているのに、ため息が出ます。
- もし自分が高齢者になった時、貧困になる可能性が高そうだからです。

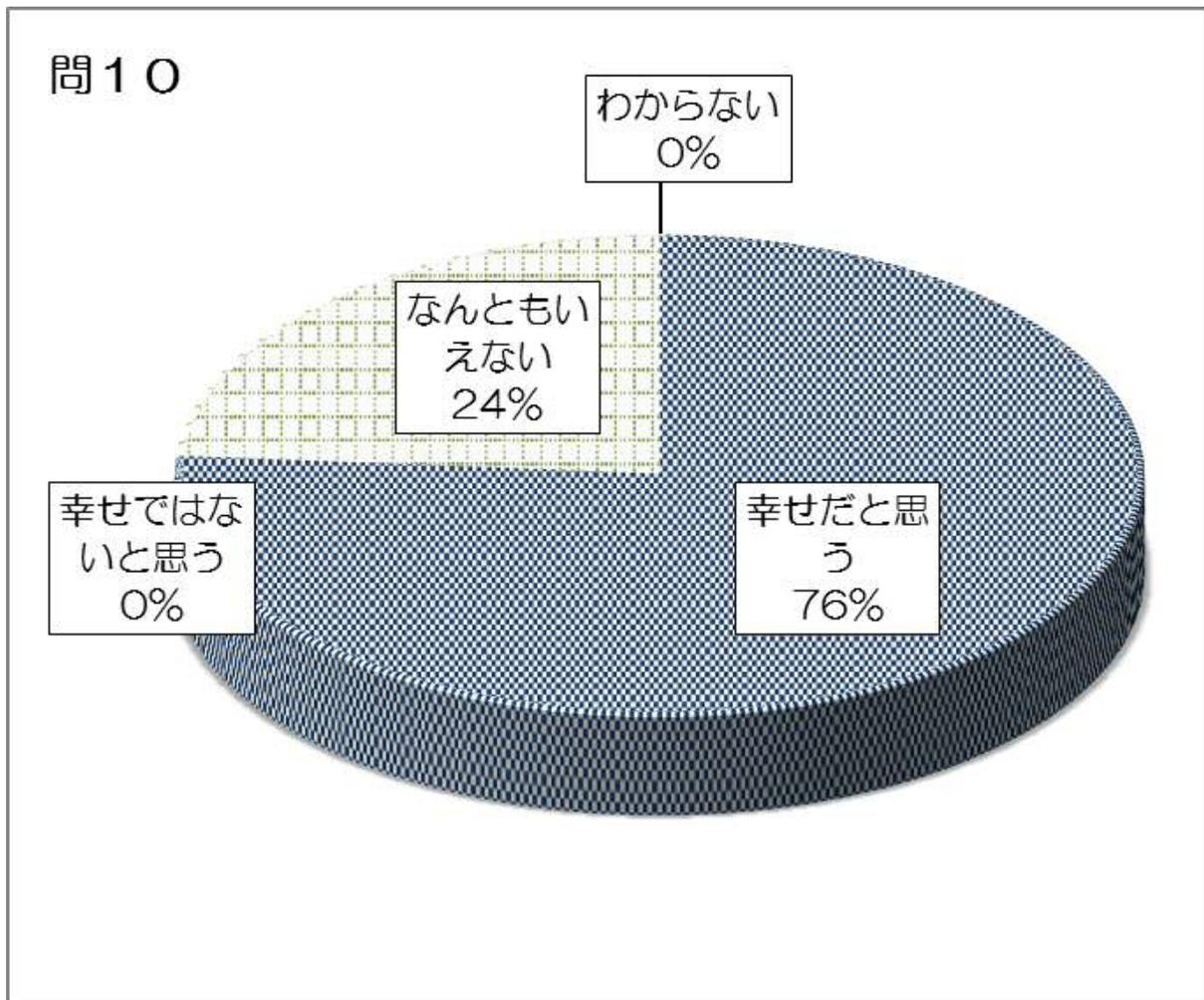
問9 あなたにとって「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしですか？

《自由意見》

- 心に余裕がある生活。
- 適切な余暇と、適切な財産があること。あとは健康であること（身体的・精神的に）
- 夢の話としか思えません。健康な老後生活を送れるのが夢です。ゆとりのある生活をしたいものです。
- 貯金と年金でつましくも不安に思わず日常が送れる生活。
- 病気になったときの治療費、家電が壊れた時に最上位機種でもすぐ買える。
- 何不自由なく生活を送ること。
- 年金でも余裕が出来る生活。
- 将来のことを考えて貯蓄しなくてもよい暮らし。例えば大学迄学費が無料になれば教育資金の心配がない。又、私達の世代は年金が受給できないかもしれないので、年金保険に加入しているが、受給できる保障があれば今の生活にお金が使える。
- 健康に過ごせ、先行きの生活に不安を感じない生活。そのためには社会保障の整備、充実が不可欠。
- 普通に生活を送る他に、旅行に行ったり外食、観劇など自由に出来たあと毎月貯蓄が出来る状態。
- お金の心配をしないでよいこと。借金のない生活。老後のお金が充分にあって今もお金の心配のない生活が送れること。
- 老いても自分の五感で生活が可能で、食物を工夫し、また料理し、味わえてこれ以上病気せず身の丈の生活ができています。
- 安定した生活（衣食住が足りて）が出来、余暇に時間とお金が使える生活。
- 経済的にも時間的にも安定していること。
- 貯金を取崩して生活費を穴埋めし、あと何年分等と心配することなく暮らせる生活。
- 家があって（家賃を払わなくてよい）、貯蓄があって健康で好きな趣味等に打ち込める事。
- 食費などを気にしない生活。
- 買いたい物をそこまでがまんすることなく買え、将来に向けての貯金も出来る状態。

- 贅沢ができなくとも日々の暮らしができ、健康で心にゆとりのあることが、ゆとりのある生活だと考えます。
- 経済に不安なく自由に時間を使って好きなことを好きな所でできる。
- 健康で旅行や趣味に時間やお金を費やし、楽しむことができること。また、家族や親類、友だち達と交流し、親睦を深められること。

問10 あなたは今、幸せだと感じていますか？



《具体的な理由》

1 幸せだと思う

- 何でも手に入るわけではないが、不自由すぎると感じることはないため。
- 逆に不幸せと感じる事がないので。
- 食べることも寝ることもできるから。
- 収入の心配があまりなく毎日が安定しているから。
- 家族が健康で、共働きなので、毎日お金について考えなくても良い生活。友人関係もうまくいっているから。
- 衣食住不自由せず生活出来ているから。

- 家族が健康であること。
- 今は細々の年金生活ですが、現役時代は毎日残業でもお互いに理解し一生懸命働きました。その満足の余韻が今も私の生きるバネとなっています。夫婦でミニボケの時も多くなりましたが、上を見たらきりがありません。今はとても満足で幸せです。
- 健康で食事がおいしくいただけているので。
- 自分のしたい仕事に就け、好きなことを楽しむ時間がある。
- 私自身は病気を持って薬を服用していますが、夫も子供も健康で年金ももらっていますので。
- 健康なので。
- 家族が健康で毎日やることがあり、不自由のない生活を送れているから。
- 小さなことでも喜ぶことがたくさんあるので。
- 健康で身の回りのことが自分でできるので、幸せです。身内や自分の病気や手術、それから母の介護を経験しているので、普段の生活がありがたく幸せに感じます。

3 なんともいえない

- 子供達は自立して、やさしいので幸せな方ですが、年金がわずかで、とても一人の生活がやっていけません。一生懸命働いて貯めた預金をくずし、やっとの生活です。子供達には迷惑をかけたくありません。
- 暮らしに不自由はなくとも、ストレスや心理的な問題で。
- 豊かではないがなんとか日常生活を過ごせているけれど、介護問題、健康問題を抱えている。
- 平均的な生活とは思いつつも、今後の金銭的な不安を感じる。
- 息子が生まれてくれたのは幸せだが、専業主婦になってしまった為、肩身が狭い思いをしています。

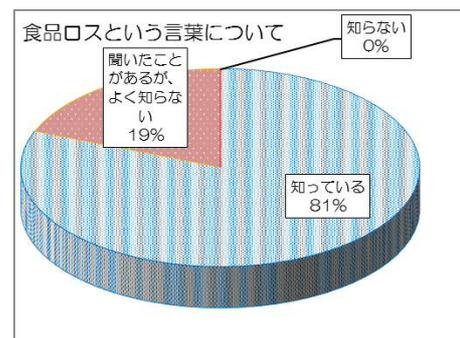
問11 消費税率が、平成26年4月から8%になりました。御自分の生活にどのような変化があると思いますか。自由にご記入ください。

- 少しでも安いものと思うが、海外のように税が10%以上に上がって他の負担がなくなるのなら良いと思う。税金でいろいろなことが利用しやすくなることもあると思うから。
- 手元資金が微妙に減っているのので、酒飲みを減らすなどしている。
- 税率が高すぎて、せめて食品にはかけないでほしい。ムダを省いて、節約しかありません。
- 恩恵は特に感じていないが、支払い額はとても増えた。
- 百均がより高くなり、よく使っているのでも百均と感じなくなってきた。
- 毎日の食品が高く感じて、値のいいものをあまり買わなくなったと思います。
- 高額な商品購入時に消費税分が高く感じる。なるべく安く購入するために、店を回ったり、ネットショップ等を活用して時間をかけて購入するようになった。

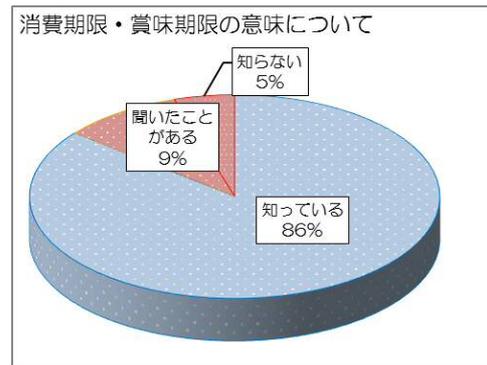
- 全面的に年金に依存する生活となった為、出費を少しでも抑えることで日常生活に必要な買物が慎重になっている。趣味に対する出費も控えるようになった。
- 日常の生活の買い物が毎回+3%負担増となり、今までより1品~2品買い控えるようになった。節約という意味ではいいが、実際はキツイ。ただ子供たちに多くの国の借金を残す訳にはいかないで仕方のない事だと思う。
- 買物の時消費税を加算した値段をまず見るようにしています。ケタが変わることもあるので、注意しないと大変。
- 消費税率8%は正直日々の暮らしを一番圧迫しますが世界の中で日本が生き延びるためには仕方がないと思います。自分達の豊かさ確保ばかりに固執せずに、これからは輝かしいことは薄くなろうと予想されます。子や孫達の為にも段階的に上げて行くべきと思う。益々膨張するばかりの医療費、2025年問題も控えている今、著しくとも実行しなければ未来はないと感じています。でも反面悪さを考えつく輩多く出沒しますから、国もきちんと色々な決まりを設定し、ゆるぎない法律を確立してほしいと思います。
- 貧富の差がますます広がっていくと思います。一見、買い求める物に税をかけるという事は平等な事のように思えますが、100円しかない人の8円と100万円持っている人の8万円では重みが違うと思います。
- 圧迫感がある。
- 物価との関係もあるのでなんとも言えないが、慣れてしまえば特に変化は感じない。
- 買物をするたびに自分の想像以上の金額を超えるお金を出さなければいけないので、頭が痛い。物価高+消費税なんてどこの主婦も痛感していると思います。
- 大きな影響はない。
- 消費税が上がり物価も高くなったからといって、夫の収入が増える訳ではないので、いやでも節約せざるを得ません。
- 生活自体に変化は感じませんが、レシートを見返す時、税金が高く感じます。高く感じますが、社会保障維持の為には更なる税率 up が必要だと思います。
- リフォーム代が高くなる。
- 消費税が上がればもちろん生活は圧迫されます。
- 必要最小限の物を購入するように心がけました。ストックできる物は、ある程度値上げ前に購入しました。

～食品に関する意識調査～

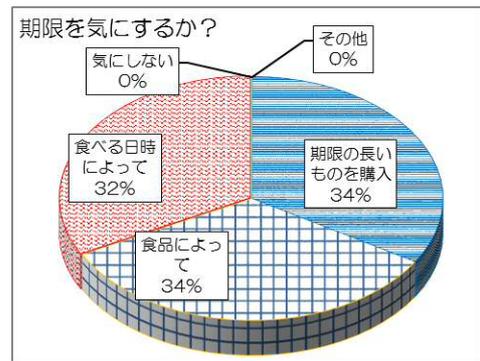
問1 「食品ロス」という言葉を知っていますか？



問2 賞味期限・消費期限のそれぞれの意味を知っていますか？



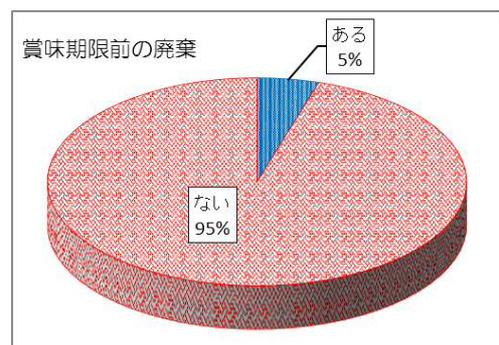
問3 買い物をするときに、期限を気にしますか？（複数回答可）



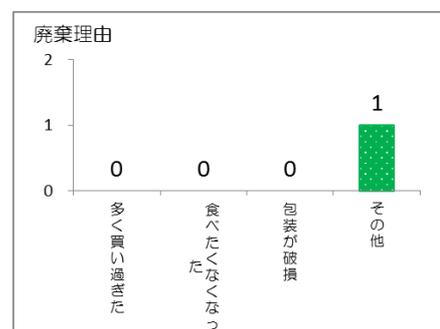
《補足意見》

- 買う時にその日や近いうちに食べようと思って購入するものは、期限が近いものを選び、長くもちたいものは長いものを購入する。
- 基本は期限の長い物、必要なものに値引きがあれば短くても購入し、節約します。

問4 賞味期限（おいしく食べることができる期限であり、期限をすぎてもすぐに食べられないということではない。主な食品は、カップ麺や缶詰など。）前に、食品を廃棄したことがありますか？



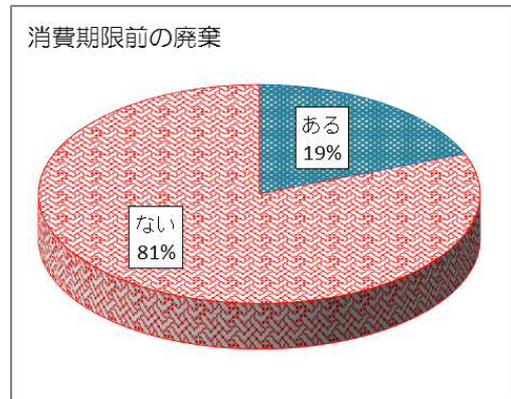
問5 賞味期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）



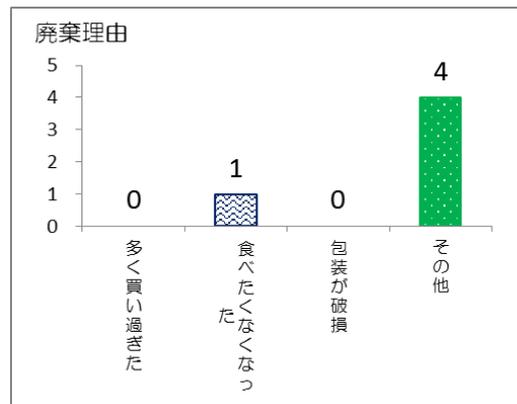
《その他》

- 食べると腹が悪くなりそうだから。

問6 消費期限（期限をすぎたら食べない方がいいもの。主な食品は、サンドイッチやお弁当など）前に、食品を廃棄したことがありますか？



問7 消費期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）



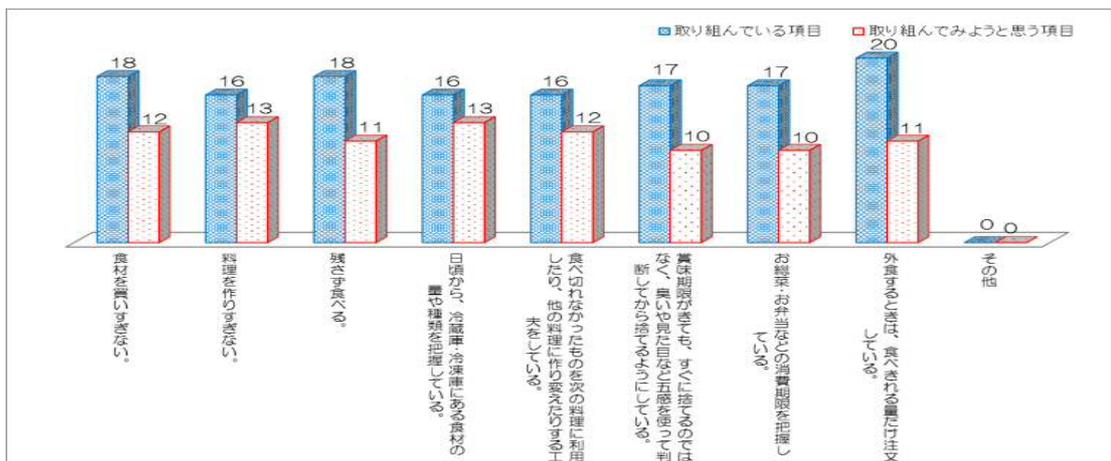
《その他・補足意見》

- 安全が心配になったから。
- 食べるのを忘れていたから。
- おなかをこわしそうな感じがしたからしかたなく。
- 途中で冷蔵保存していたが、臭いをかいで健康に良くなさそうで廃棄した。

問8 次の項目で、Aすでに取り組んでいる項目はありますか？

B今後取り組んでみようと思う項目はありますか。

該当するものすべてに○印を記入してください。すでに取組みをされていて今後も続けようというものは、A/B両方に○印をお付けください。



《補足意見》

- ・ 我が家ではあまりお惣菜やお弁当を買うことがないのですが、そういう場合があればしっかりと把握したいです。

問9 その他ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

《自由意見》

- ・ 食品ロスについては、日頃から体調管理に気を配って、あまりバーゲンセール of 買い物に惑わされずに、今必要なものを購入しようと努めているので、心配はないです。
- ・ 経済的理由により、ほとんど外食をしません。飢えている子供達もいるので、「食品ロス」をうまく活用してほしい。
- ・ 食の事は身近な事なので、考えていかないといけないと思っています。
- ・ 食品のあまりを生活に余裕の無い人にわけてあげるといいと思います。特にスーパーやコンビニの期限ギリギリの物などを、その様な人にわけてあげてほしい。
- ・ もったいないを念頭に、毎日生活していきたいと思っています。
- ・ 欧米に比べて我が国のメーカーは、目先を変えて続々買わせようとするのか、新製品がわずかの間に旧製品になり、手に入らないことが多く不満。良い製品を長くコストダウンを図る努力が必要。
- ・ コンビニなどは、遅い時間値段を下げるべきだ（弁当など）と思う。本部が禁止していることが多い。
- ・ 外食の注文量に関しては、普通の定食等を残すことはないのですが、バイキングでは、ついつい調子にのって取りすぎてしまうことがあるので、本当に気を付けなければいけないと感じました。
- ・ 食生活が豊かになりすぎたことが、食品廃棄の増加につながっていると思います。海外には貧しい国が多くあること、日本は食にとてもめぐまれていることを一人一人が認識し、食品を大切に消費することが必要だと思います。
- ・ 段ボールコンポストを使用しています。残菜など生ごみで捨てるのではなく、段ボールコンポストに入れて堆肥に有効利用できるのも便利です。

